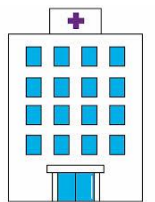


南那須地域医療を守る会ニュース

No 7
2015. 1. 1
代表 米山正人
028-645-5058



超高齢化社会を迎え 住民・医療・行政一体の取り組みが急務 ——在宅医療を支える実践の現場から——

昨年2月、烏山公民館で、那珂川町の佐藤医院・佐藤充理事長による『超高齢化社会の課題と対応』と訪問看護ステーションあい・横山孝子氏の『最後まで自分らしく過ごすために』と題した講演会を開催しました。

佐藤氏は、超高齢化社会では、高齢者の生きがいとして就労や社会参加が必要であり、そうした高齢者に住みやすい社会は全ての人に住みやすい社会であること、治療不可能な患者に対応する在宅医療は、終末期までいかに生活の質を確保しながら満足度を高めることができるかであり、患者の生き様を支える『全人的包括医療』である、と説明されました。そして在宅医療を実現するためには、医療関係者の確保や家族の理解・協力以外にも、様々な取り組みが必要で、問題も山積みだが、住民・医療・行政が三位一体となって取り組みを進めることが急務である



資料を映しながらお話しされる佐藤氏(右)と横山氏

と、力説されました。横山氏は、「死」は必ずあり、特別なことではないこと、高齢や病気で通院が困難な場合もあるので主治医の他に往診医を探しておく必要があり、場合によっては訪問看護の利用を考えることなどを説明され、家族と「思い」を話したり聴いたりすることや「エンディングノート」を書くことを勧められました。

約160名の参加があり、アンケートには「在宅医療や訪問看護の必要性が理解でき、有意義な講演会であった」「自分の問題として考える必要性を感じたので、家族と話し合いたい」などの感想が多く見られ、この地域の切実な問題をとり上げた今回の内容は大変好評でした。

第5回定期総会

昨年6月、烏山公民館で定期総会を開催し、この一年間の会員が376人であったこと、事業として「医者として」の上映や講演会（上記に詳細記事）、那須南病院で研修中の医学生との懇談会を実施したほか、那須南病院ボランティア活動として病院周辺の2回の清掃活動、院内の月毎の作品展の実施などが報告されました。決算では、1百万984円の収入に対して、42万3186円の支出があり、残金は翌年度に繰り越すことが報告され、承認されました。

活動計画では、昨年度同様の活動が予算計画とともに提案され、承認されました。

総会後に、消費生活リーダー烏山支部による寸劇『人生いろいろ、認知症もいろいろ』が披露され、分りやすくユーモアある演技で会場をわかせました。



名演技で会場をわかせた寸劇

地域医療フォーラム

地域医療について意見交換
昨年11月、県・那須烏山市・南那須医師会主催の地域医療フォーラムが烏山公民館で開催され、岩手県立千厩病院の吉田徹病院長の「岩手県立千厩病院の現状―住民が支える地域医療―」と題した基調講演のあと、パネルディスカッションが行われ、住民代表として当会会員でもある横山孝子さんが参加しました。

ディスカッションでは、初期、2次、3次の救急医療を担



う医師、地域住民、消防機関それぞれ立場から、救急医療の現状と課題や住民一人ひとりができることなどについて話し合いが行われました。最後にコーディネーターより、地域の医療を守っていくためには、住民が健康を維持し、地域医療の重要性を理解し、行動していくことが重要であるとまとめられました。

映画上映会のお知らせ

入場無料

ベストセラーのエッセイ漫画の映画化、新しい介護喜劇映画の誕生です。

『ペコロスの母に会いに行く』

89歳にして映画初主演の赤木春恵が認知症の母親役を熱演。監督は『男はつらいよフーテンの寅』など人情喜劇で映画ファンを魅了する森崎東。その他豪華キャストと実力派スタッフが集結し、深刻な社会問題として語られがちな介護や認知症の問題を「笑い」と愛でお届けします。

●とき：2月21日(土) 午前10時～ ●ところ：烏山公民館

※消費生活リーダー烏山支部による認知症を理解するための寸劇もあります。



那須南病院の職員紹介 その4



森成 正人 内科科長
勤務年数 10年



関本 京子 看護師長
勤務年数 23年

*** 出身地** 日光市 (旧今市市)

*** 趣味** 映画、ランニング、写真、漫画、バトミントン

* 那須南病院の良いところ

スタッフ間や医師間で相談しやすい環境があり診療に役立つと思います。近年は医療連携室設置や院内のIT化もあり、その利点が還元できると感じています。到らぬ点をご指摘された場合は、全部署で確認後に検討しています。医師の36時間連続勤務やオフ時間の1/3が拘束される点は、内科医を2名増員して医師の負担減を希望しています。今後も病院の応援をよろしくお願いいたします。

*** 出身地** 那須烏山市

*** 趣味** 韓ドラ鑑賞、料理

* 那須南病院の良いところ

南那須地域でも高齢化が進み、一人暮らしや高齢者世帯での介護となり、退院に向けて不安を抱える患者様が増えていきます。当院では、入院時から安心して退院できるように一般病棟、療養病棟、医療連携室が連携し退院支援や認知症看護に力を入れています。また新たに看護相談室を設け、医療・福祉相談もできる体制が整ってきています。院内デイケアも地域ボランティアの方と一緒に充実しています。安心して入院生活を送れる病院です。

「南那須地域医療を守る会」の活動にご支援・ご協力をお願い致します。

まだまだ不十分ですが、会員になられた方々の会費で、会の活動は支えられています。

随時、会員を募集しています。

年会費
1,000円

会の活動いろいろ

● 敬老会でオカリナ演奏

9月11日(木)、那須南病院で開催された敬老会に(当会が依頼した)小堤正二さん、キヨさんご夫妻が参加してオカリナ演奏を行いました。患者さん達は、懐かしく、やわらかいオカリナの音色に聞き入ったり、配られた歌詞カードを見ながら一緒に口ずさんだり、楽しいひとときを過ごされていました。



小堤夫妻による演奏

● デイケアのお手伝い

今年度から那須南病院の依頼により、デイケアのボランティアを始めました。毎月第2・4水曜日(3階)木曜日(4階)に、それぞれ看護師さんが中心となって比較的元気な入院患者さんをデ

イルームに集め、約1時間歌を唄ったりゲームをしたりなどのお手伝いをしています。

退院間近かな人、入院して間もない人と色々いらつしやいますが、その人の気持ちに添ってサポートしています。

デイケアのボランティアに協力頂ける方、運営委員までご連絡下さい。

● 福祉まつりでAED講習

那珂川町(10月18日)・那須烏山市(11月2日)の福祉まつりに参加しました。

今年も消防署・救急救命士さんの協力で、心肺蘇生法とAEDの使い方の方の実技を一般の方に呼びかけて体験して頂きました。多数の参加ありがとうございました。



AED講習会を熱心に受講する参加者

● 病院内作品展企画

団体会員や個人の方などの協力を頂き、月替わりに展示をしています。早いもので4年目となり、「今年の展示は何月ですか?」と団体の方から聞かれたり、通院されている方から「私の作品が展示されて嬉しい」などお言葉を頂いています。手作り作品をお持ちの方、サークル活動されている方、是非御協力下さい。

1月..水墨画 2月..版画

3月..フォト俳句

などを計画しています。



いろいろな団体、個人の協力で1ヶ月毎に展示を変更しています。

● 病院周辺清掃活動

7月と11月、朝7時より那須南病院周辺の草むしりと清掃活動を実施しました。ご協力有難うございました。